

屯田兵の里まつり フォトアルバム



飾ったフラッグ パレードの様子 パレードの様子
この屯田兵服やウェルカムフラッグなどは、宝くじ助成事業の助成を受けて製作されました。

8月27日(土)～9月4日(日)、琴似地区などで行われた
「かがやけコトニ～屯田兵の里まつり」
イベントの様子を写真でお伝えします。

グランドオープニング^{アンド}&パレード

フェスティバルウィーク初日の27日は、台風の影響が心配されていた天候も回復。晴天の下、西区役所横の屯田の森で、午前10時30分からオープニングセレモニーが行われました。セレモニー終了後は、そのまま「コトニ屯田兵パレード」が行われました。

パレードでは、屯田兵の兵服を再現した衣装を着た「屯田兵琴似第一中隊」の20人をはじめ、上田文雄市長やミス札幌らを先頭に、カラーガーズ隊、琴似の子どもたち、少年消防クラブや西消防団琴似分団の皆さんらが、消防音楽隊が奏でる「虹と雪のパレード」などの曲に合わせて、屯田の森から八軒会館まで、琴似本通の約1キロメートルを150人が行進しました。

沿道を埋めた住民の皆さんや見学に訪れた親子連れなどの見物客が小旗を振ったり声援を送ったりする中、パレード参加者たちは、誇らしげに歩いていました。



西区タウントーク～地域の歴史を生かしたまちづくり～

パレードの終了後、八軒会館で、「地域の歴史を生かしたまちづくり」をテーマに、西区タウントークが行われました。※詳細は本誌10ページ

タウントーク冒頭には、上田市長から琴似商店街振興組合の玉田一至理事長へ「国土交通大臣表彰」の表彰状が手渡されました(写真左下)。

これは、平成13年、西区で道内初の試みとして導入された「アダプト・プログラム」の、初の調印団体であり、現在も琴似本通の美化清掃活動を継続している琴似商店街振興組合の業績に対し、国土交通大臣より表彰を受けたものです。

同組合は「アダプト・プログラム」の清掃活動のほかにも、行政や他団体と協力し、琴似本通の路上駐輪場跡へのフラワーポット設置や、歩道上の無許可看板・のぼり旗などの不法占用物の撤去、違法駐車のパトロールなども行ってあり、琴似本通の環境美化に努めています。



「里の歩みそして夢」歴史展・講演

西区民センターでは、「里の歩みそして夢」歴史展と講演が行われました。歴史展は「のびゆくコトニ」「北の防人」「学校と子どもたち」「わたしのコトニ」の4コーナーに分けて展示され、工夫をこらした展示物が配置されていました。

「北の防人」では、屯田兵に関するさまざまな資料が展示され、中でも、琴似神社の収蔵物で今回が初公開となる品々は、めったに目に触れる機会がないものとなっており、来場者の目を引いていました。



オープニングのテープカット



パレード先頭



カラーガーズ隊



観客の様子

